



まくらざき

市議会だより 2026



月号

No.334



表紙：食欲の秋到来!!～お魚センターかつおわら焼きタタキ体験～

主な記事 contents

- ▶ 定例会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2P
- ▶ 委員会審査の概要・・・・・・・・・・・・・・ 2～4P
- ▶ 議案と結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5P
- ▶ 一般質問 立石議員・橋口議員・・・・・・・・・・ 6P
- 下竹議員・吉嶺議員・・・・・・・・・・ 7P
- 味園議員・水野議員・・・・・・・・・・ 8P
- 禰占議員・平田議員・・・・・・・・・・ 9P
- ▶ 市議会トピックス・・・・・・・・・・・・・・ 10～11P
- ▶ 編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12P

まくらざき市議会だより 9月号 No.334

発行●枕崎市議会

編集●枕崎市議会報調査特別委員会

〒898-8501

枕崎市千代田町27番地

TEL. 0993-76-1046

令和8年第4回定例会

会期：令和8年6月12日～6月26日（15日間）

この定例会では、令和8年度一般会計補正予算など予算関係議案2件、条例関係議案3件、財産の取得1件、意見書1件、陳情1件、人事案件などについて審査を行い、6月16日・17日の本会議では、8名の議員が一般質問を行いました。

定例会の日程

- 6月12日（金）** 本会議（1日目） 行政報告、議案上程、説明、委員会付託、人事案件の表決、報告事項4件
- 6月16日（火）** 本会議（2日目） 一般質問（5名）【立石・橋口・下竹・吉嶺・味園】
- 6月17日（水）** 本会議（3日目） 一般質問（3名）【水野・禰占・平田】、追加議案の上程
- 6月18日（木）** 総務文教委員会 議案3件及び陳情1件の審査
産業厚生委員会 議案1件の審査
- 6月19日（金）** 予算特別委員会 補正予算1件の審査
- 6月26日（金）** 本会議（4日目） 総務、産業、予算（補正）の委員長報告、質疑、討論、表決
意見書1件、補正予算1件の審議、土地開発公社等の経営状況に関する質疑

《委員会審査の概要》

総務文教委員会

◎議案第51号 枕崎市税条例の一部を改正する条例の制定について

改正の主な内容は、個人住民税関係では、令和9年1月1日施行となる条文の内容は、個人住民税に係る給与所得控除について、65万円の最低保障額を69万円に引き上げること、令和9年度分及び令和10年度分の最低保障額は、これに加え、5万円引き上げること、同一生計配偶者及び扶養親族の前年の合計所得金額要件を現行58万円以下から62万円以下に引き上げることなどです。

次に、令和10年1月1日施行となる条文の内容は、復興特別所得税の課税期間延長及び防衛特別所得税の創設に伴う改正と、優良住宅地の造成等のために土地等を譲渡した場合の長期譲渡所得に係る課税の特例の見直し及び適用期限の延長に伴う改正をするものです。

次に、固定資産税関係の改正は、家屋に係る免税点を現行の20万円から30万円に、償却資産に係る免税点を現行の150万円から180万円にそれぞれ引き上げる改正を行い、令和9年度以後の年度分の固定資産税について適用するものです。

◎議案第52号 枕崎市消防団員等の公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、これに準じ、非常勤消防団員等が公務等により死亡した場合における葬祭補償の定額部分を31万5,000円から33万円に引き上げようとするものです。

◎議案第53号 財産の取得について

本件は、本市消防計画に基づき定めている車両整備計画に基づき、消防署に配備する水槽付消防ポンプ自動車1台を更新するものです。

また、この車両は、大規模災害時における緊急消防援助隊登録車両であることから、災害対応型車両として整備するため、資機材の充実を図り、火災だけでなく、激甚化・頻発化する自然災害等への迅速な対応を行うために整備するものです。

◎陳情第3号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2027年度府予算に係る意見書の提出を求める陳情

当局 35人学級は、義務標準法が改正され学級編制標準が引き下げられたことにより、小学校では昨年度から実施され、中学校では今年度から段階的に3年かけて引き下げられ実施される。

高等学校は、少人数によるきめ細かな指導が重要となるが、学級編制標準を一律に35人に引き下げると、多数の教員増に伴う人件費の確保、教室の増設など、財政面や施設面で課題が生じる。

次に、教職員の定数改善は、学校運営や個別指導の充実を図るための加配教員の増員はもとより、中学校における音楽科、美術科、技術科、家庭科などといった少数職種は、学校規模や地域の実情により、複数校の兼務や、未配置等の課題が生じており、専門性を生かした授業の継続的实施や教材研究、児童生徒への十分な指導時間の確保が難しい状況も見受けられている。

次に、特別支援学級籍に在籍する児童生徒については、児童生徒個々の障害の種類や程度に違いがあるため、決まった時間や教科等において、一律に全員で交流学級での授業を受けるということはない。また、義務標準法においては、特別支援学級か交流先の普通学級のいずれかで児童生徒数を計上しなければならず、ダブルカウントすることは法律上は不可である。

委員会での賛成意見

- 高等学校での35人学級の早急な実施についても、市として関わっていったほうがよいことから採択すべきである。
- 教育現場が改善されないと子供も増えていかなことから、教職員の定数改善等は早急に解決すべき内容であるため、採択すべきである。

本件は、採択すべきものと決定いたしました。

産 業 厚 生 委 員 会

◎議案第65号 枕崎市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

本件は、令和7年度住民税非課税者について、令和7年度税制見直しによる住民税の給与所得控除の最低保障額引上げ及び介護保険法施行令の一部改正に伴い、令和8年度住民税が非課税となり、かつ、介護保険料の算定において住民税課税世帯の保険料段階に属することとなる場合、介護保険料を減免できるよう、所要の改正をするものです。

Q 今回の改正に伴う対象者数と影響額について

A 合計で38人、98万4,200円が減額されることとなっている。

◎議案第50号 令和8年度枕崎市一般会計補正予算(第1号)

可決

予算特別委員会では、枕崎市一般会計補正予算(第1号)の予算関係議案について、審査を行いました。

補正予算6,700万円を追加(予算総額:153億3,700万円)

主な補正予算の内容 ()内は補正額

- **LINE導入事業委託(752万4千円)**
- **地域公共交通システム推進事業負担金(707万8千円)**
枕崎市地域公共交通計画策定経費ほか
- **Acrocity×BI導入事業委託(1,455万6千円)**
行政データを匿名化しオープンデータとして活用するための支援ツールの導入経費
- **GISを活用した地籍図等のデジタル化構築事業委託(773万5千円)**
地籍図等のデジタル化に要する経費
- **農業後継者育成対策事業補助(120万円)**

6月26日(金) 最終本会議

◎議案第66号 令和8年度枕崎市一般会計補正予算(第2号)

可決

補正予算3,239万9千円を追加(予算総額:153億6,939万9千円)

主な補正予算の内容 ()内は補正額

- **物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業【1事業】(3,088万9千円)**
・キャッシュレス決済消費喚起ポイント還元事業
(1) 対象店舗：市内の飲食店、宿泊業、タクシー・代行、カラオケ・スナック
(2) 実施期間：令和8年9月1日(火)～9月30日(水)【30日間】
- **バス関係経費(133万5千円)**
ジャンボタクシーによる空港バスリレー運行事業委託
(南さつま市が繁忙期限定で実施する空港バス実証運行便へ接続)
- **アートミュージアム拠点(南湊館)推進事業(17万5千円)**

小規模市ネットワーク議長会を本市で開催



7月2日(木)、令和8年度小規模市の地域戦略を考える地方議会ネットワーク議長会が本市で開催されました。

構成市は阿久根市、西之表市、垂水市、枕崎市、宮崎県串間市、えびの市、西都市の計7市で、共通する政策課題等について協議がなされました。

また、3日(金)には本市の3カ所の施設について視察が行われました。

議案と結果

令和8年第4回定例会

(全会一致で議決された案件)

番号	議案名等	議決結果
第50号	令和8年度枕崎市一般会計補正予算(第1号)	可決
第51号	枕崎市税条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第52号	枕崎市消防団員等の公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	可決
第53号	財産の取得について	可決
第54号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意
第55号~64号	農業委員会委員の任命について	同意
第65号	枕崎市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決

(賛否が分かれた案件) ※賛成は○、反対は●、欠席は欠、除斥は除、退席は退、―は議長のため表決していない。

番号	議案名等	議決結果	議員名(議席順)											
			眞茅弘美	下竹芳郎	辻本貴志	上迫正幸	水野正子	立石幸徳	欠番	味園美和子	禰占通男	平田るり子	橋口洋一	吉嶺周作
第66号	令和8年度枕崎市一般会計補正予算(第2号)	可決	―	○	○	○	○	○		○	○	●	○	○
第67号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための令和9年度政府予算に係る意見書	可決	―	○	○	○	○	○		○	●	○	○	○
陳情第3号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2027年度政府予算に係る意見書の提出を求める陳情	採択	―	○	○	○	○	○		○	●	○	○	○

ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための令和9年度政府予算に係る意見書

学校現場では、貧困・いじめ・不登校・教職員の長時間労働や未配置など解決すべき課題が山積しており、子供たちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっている。ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、教職員定数改善が不可欠である。

給特法等改正を受け、義務標準法が改正され、小学校に続き中学校の学級編制標準は令和10年度までに35人に引き下げられる。今後は、高等学校での早期実施と、きめ細かい教育活動を進めるために、さらなる学級編制標準の引下げ、少人数学級の実現が必要である。

また、学校の働き方改革は教育委員会作成の業務量管理・健康確保措置実施計画により進められるが、「3分類」にかかわらず業務の外部移行・委託を行うための国による自治体への財政措置等が不可欠である。

よって、国会及び政府におかれては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、下記の措置を講じられるよう強く要請する。

記

- 1 高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる学級編制標準の引下げ等、少人数学級について検討すること。
- 2 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教職員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
- 3 特別支援学級籍の子供を交流学級でも在籍児童生徒数としてカウントすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
令和8年6月26日 鹿児島県枕崎市議会



学校の再編・統廃合について

たていし ゆきのり
立石 幸徳 議員



問 少子化の影響は、教育現場に大きな変化をもたらしている。小中学校では児童生徒が切磋琢磨して能力を伸ばしていくことから、一定の集団規模が確保されていることが望ましいと考えられている。学校規模の適正化や小規模化に伴う諸問題への対応は、継続的に検討されなければならない。

本市の「望ましい学校づくり審議会」が設置されるが、“地域とともにある学校づくり”この視点を踏まえた丁寧な議論が行われなければならない。審議会への諮問内容はどのようになっているのか。審議会スケジュールを含め、示すべきである。

答 「教育環境を取り巻く課題が顕在化している状況の中で、教育の質の維持・向上を図るため、市内全中学校の再編・統廃合に関わる具体的方策について意見を求める」としており、6月26日に1回目を開催。その後2か月に1回開き、来年2月までに答申をいただく予定。

問 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」で定められている総合教育会議は、市長と教育委員会で構成されている。教育振興上、最も重要な教育大綱についての協議・調整はどうなっているか。

答 総合教育会議は、教育委員会と市長部局がそれぞれの役割を明確にしながら協議する場である。

望ましい学校づくり審議会の状況を踏まえながらも、学校をどう減らすかではなく、これからの時代に子供たちにどのような教育を残していくかを共有する場である。未来を担う子供たちのために、知恵を出し合うことこそ、最も重要な協議・調整の在り方である。

防災対策について

問 地元JAの交流をもとに、災害時における南あわじ市と枕崎市の自治体間の応援協定が締結される。協定の内容、今後の取組をどのように考えているか。

答 両市は地理的に離れているため、大規模災害時に同時に被災するリスクが低い。両市それぞれバックアップ体制が確保できる。阪神大震災を経験した南あわじ市、台風をはじめとする風水害を経験してきた本市が災害対応のノウハウをお互いに学ぶことで防災力を高めていきたい。



本市の実情に応じた自転車通行区分の適用について

はしぐち よういち
橋口 洋一 議員



問 車道を自転車が行くという前提での車道の整備状況はどのようになっているか。

答 市道では、歩行者の安全・安心を優先したゾーン30など通行空間の整備を推進しており、自転車の車道通行を誘導するための施設整備には至っていない。歩道側路肩には舗装の経年劣化や側溝との段差等も見られることから、路肩の良好な状態の維持が課題であると認識している。なお、外側線より内側の車道部分を自転車の主な走行位置とすることが安全上望ましいことから、関係機関と連携し、周知を図りたいと考えている。

問 現在、自転車が歩道を走行できる普通自転車歩道通行可はどこに設定されているか。

答 国道226号・270号、県道枕崎知覧線・枕崎停車場線の4路線の一部区間に設定されている。

問 13歳以上である中学生も自転車に乗る際には原則車道走行するということになるが、どれほどの指

導が行われているのか。

答 年に1、2回開催している交通安全教室の際に、警察署等と連携し、自転車の安全な乗り方について実技も含めた指導を行っている。保護者に対しても道路交通法の改正についての周知を図っている。

問 自転車を利用する外国人技能実習生に対する指導・教育はどのようになされているか。

答 原則として、監理団体や受入企業が主体となって実施するものと認識している。

問 市役所前の広い歩道をまず皮切りに、市内の歩道を伴った車道については、可能な限り普通自転車歩道通行可とできるように、国県とともに県公安委員会へ働きかけはできないか。

答 市役所前の市道を契機として様々な課題や留意点を検証し、そこで得られた知見を踏まえ、市内の市道や国県道のうち歩道を有する幹線道路を対象に当該規制の指定の可能性について、警察や各道路管理者と連携を図りながら、働きかけを積極的に行いたい。



市民が「健康でいきいきと暮らせるまち」について

しもたけ よしろう
下竹 芳郎 議員



問 本市の地域医療を支えていただいた民間病院が次々と閉院している。その中で市立病院は小児科を開設した。病床機能も再編し、これからの地域医療の展望は。

答 全国的に地方においては、医療機関等が減少し、南薩保健医療圏域における地域医療を取り巻く環境は厳しい局面を迎えている。市民の間に不安が広がらないよう、本市としては医療提供体制の維持・確保を今後の地域における最優先課題と位置づけ、取り組んでいる。

問 年々負担が重くのしかかる国民健康保険税だが、令和9年度一般会計からの法定外繰入れの解消を目指すと言うが、達成は可能か。

答 本市の国保制度を健全な形で運営していくために、標準保険料率を参考とした国保税の税率改定を行うことが必要である。国保財政の健全化に向け税率改正に加え、医療費の適正化を図るため、特定健

診の受診率向上や、ジェネリック医薬品の使用促進等の取組を丁寧に取り組む。

「子育て・学びが充実したまち」について

問 今年度中に新設するこども家庭センターは、子育て世代のニーズに寄り添うため、こういった取組を行っていくのか。

答 こども家庭センターは、子育て世帯を包括的に支援する中核的な存在として役割が期待されており、特に児童虐待や子供の貧困など、深刻化する社会問題に対する予防的な取組の強化が求められている。

このことから、これまでの組織改編の成果を最大限に生かし、市民にとって一番近い相談先になれるよう体制整備などの準備を進め、本年度中の開設に向け、子育て世代に寄り添った安心感に満ちた子育て環境の実現に努める。

その他の質問事項

・ 平和教育について



ごみ袋問題とごみステーションの管理について

よしみね しゅうさく
吉嶺 周作 議員



問 市民の生活に直結するごみ袋の値上げの前に、具体的に市や衛生自治団体連合会では、どのような検討がなされたのか。

答 公民館への委託料であるごみ集積場管理費の令和7年度決算34万円程度を削減する案も検討したが、ごみ袋の単価に反映させても0.5円程度の削減にしかならないことから、販売価格を約30%程度値上げすることになった。

問 4市の共同施設であるごみ処理場なんさつECOの杜に新たなごみ袋も製造できる事業の多角化を図るべきではないのか。

答 ごみ袋の取扱いについては各市それぞれであり、本市は衛生自治団体連合会という組織の中で運営されている。市で直轄しているところもあり、整理をしていかなければ4市での同じ対応はできない。

自主防災組織について

問 近年、近所付き合いも希薄になっている中、地域住民が安心安全な生活を送るためにも、自主防災組織の団結力を強化する必要がある。市民運動会と防災運動会を同時に開催することにより、地域内の絆と共助を深められる系口になるのではないのか。

答 市民運動会も参加公民館数や参加者数の減少が課題である。市民運動会に防災の視点を取り入れることは、地域の共助意識を高めるとともに、これまで参加が少なかった公民館に対しても、自主防災組織の活動と関連づけた参加のきっかけになる可能性があると考え。次年度以降のプログラムの在り方について検討していく。

火之神保有地の利活用について

問 火之神エリアの魅力創出事業について、基本計画の進捗はどうなっているのか。

答 年内に基本計画案を取りまとめ、令和9年1月にパブリックコメントの実施、3月に基本計画を公表する予定である。



消防組織について

みその みわこ
味園 美和子 議員



問 鹿児島市消防局においては、毎年約6割の定期異動が行われており、職場の固定化防止や人間関係の改善にもつながっている。一方、枕崎市消防本部は単独消防であり、人数規模も限られる中、どうしても閉鎖的な環境になりやすく、職員の精神的負担も大きくなりやすいのではないかと感じる。人間関係の固定化を防ぐための配置転換や業務分担の工夫について。

答 毎年度5人から8人程度の配置替えを実施しているほか、署内の各係業務につきましても、おおむね3年程度を目安に職員全員が全ての実務を経験できるよう計画的な担当替えを行っている。

問 相談体制についてはどのようなになっているのか。

答 消防組織における、内部の相談体制については、消防総務課内に窓口を設置している。相談者の秘密を厳守することはもちろん、直属の上司を介さずに直接相談できるなど、安心して利用しやすい体制を取っている。

また、消防以外の窓口の設置については、職場の人

間関係を気にせず相談できるよう、市役所本庁の総務課窓口を相談先の一つとしており、同時に、鹿児島県や総務省消防庁においても、消防職員やその家族を対象とした専門の相談窓口が設置されていることを職員に周知している。

商店等新規出店支援事業補助金制度の対象地域拡充及び新商品開発支援について

問 現在の対象地域を見直し、市内の他の地域にも補助対象を広げる考えはないか。

答 これまでも別府地区や桜山地区に出店したいという要望や、郊外の空き家や倉庫などを活用して店を構えたいという声があり、事業所や商工会議所を含めた関係の皆様からの意見を踏まえながら、見直しについて検討していきたい。

九州大会及び全国大会並びに国際大会出場補助金について

問 文化・芸術分野への対象拡大の考えはないか。

答 ほかの自治体の事例も参考にしながら、スポーツ分野との均衡や公平性を踏まえて、どのような支援が可能なのか、今後研究していきたい。



物価高騰に対する支援について

みずの しょうこ
水野 正子 議員



問 重点支援地方交付金等を活用した、飲食店を対象とする新たな緊急支援事業の創設について、今後の検討状況や実施の可能性は。

答 中東情勢の悪化については、石油や関連製品の値上がりにつながり、製品不足が波及した物価上昇の連鎖が起き、市民生活や本市の基幹産業である農林水産業をはじめとした市内企業等の事業活動に大きな影響を与えている。飲食店からも、仕入れ品等が軒並み値上がりし、経営に苦慮していると伺っている。

これらの状況を踏まえ、国の令和8年度補正予算の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した地域経済の活性化、需要を喚起させる独自の支援策を実施する考えである。

今後のこどもの日かつおまつりの在り方について

問 かつおまつりを今後も継続していくに当たり、どのような手だてや取組が必要であると考えているのか。

答 どのような団体に関わりを持っていただけるか、また、どの団体が実施主体となり統括いただけるか、必要な経費についてどう確保していくかなどについて、これまで協力いただいていた関係団体の皆様と引き続き協議し、関係団体の来年度の事業計画や予算等のこともあるので、年内には一定の組織体制の枠組を確立させていきたいと考えている。

子ども・子育て支援金について

問 なぜ、独身の方や高齢者の方までも、広く一律に拠出し、この支援金を支払う必要があるのか。

答 支援金により拡充される給付を直接受けるのは主に子育て世帯に限られる。しかしながら、これらの給付により育まれた子供たちはやがて成長し、我が国の経済社会や社会保障制度を支える不可欠な担い手となる。

このことから、現在の現役世代が将来高齢期を迎えた際に、社会を支える世代をあらかじめ育てていくという支え合いの循環を維持する観点から、この制度は単身の方や高齢者の方を含めて、全ての方に意義があるものと捉えている。



ふるさと納税について

ねじめ みちお
禰占 通男 議員



問 ふるさと納税における返礼品の不適正表示について、寄附者への対応はどのようなになっているのか。

答 事案を真摯に受け止め、返礼品提供事業者から金券の送付が確実に実施されるよう求めたい。

問 発送はいつになるのか。寄附者に対してそこがネックになると思うが。

答 手続はスタートしており、1,000件を超える方々からのリアクションによる住所情報を基に、速やかに発送手続を取ってまいりたい。

問 今後の返礼品の在り方はどうなるのか。

答 本市の返礼品提供事業者から関係法令遵守状況の報告を受け、県の食品表示に係る専門家による研修を行った。ふるさと納税制度の本来の趣旨を踏まえ、返礼品を通じた本市の魅力の向上に取り組む。

かつおぶし加工用原料について

問 高騰する加工用原料の対応は。

答 原料となる冷凍カツオは、枕崎漁港に海外まき網船や運搬船が直接陸揚げし、加工用として供給される。また、国内漁港からトラック輸送されるものや、海外から博多港などにコンテナ船で運ばれ、トレーラーで陸送されるものが多い。

冷凍カツオの確保については、海外まき網船の誘致を強力に進めていきたい。一月5隻ほど、年間で60隻入港しており、入港により地元経済も潤っているため、漁協や加工組合と連携しながら海外まき網船の誘致活動を推進し、原料の安定的な確保に努めたい。

問 冷蔵施設の新設は可能なのか。

答 漁港施設の冷蔵庫機能の拡充は、海外まき網船や加工組合の関係者から、冷凍カツオの保管機能の充実を求める声があることを、市としても認識している。

問 魚価と加工品の価格転嫁、入漁料のさらなる補助拡充や燃料高騰の今後の対応は。

答 今年度も3分の1以内の補助で予算計上、昨年も燃油高騰の支援等をしている。資材高騰と燃料高については、加工組合の皆様とも共有しており、コスト部分を価格転嫁可能な環境づくりの必要性を関係の皆様と共有している。



ごみ処理における高齢者への支援について

ひらた るりこ
平田るり子 議員



問 本市のごみ処理方法の変更に伴い、市民の皆様から「分かりにくくなった」「遠くて持ち込めない」「車がなくて処分できない」などの声が寄せられている。特に高齢者世帯では、ごみの搬入や運搬が大きな負担となっている。市として現在の状況をどのように認識しているか。

答 高齢者が抱えている課題については、ごみの仕分や集積所まで運ぶ手段に困っている、いわゆるごみ出しなど、様々な問題があることを認識しており、対策の一つとして、ごみの戸別収集事業について、福祉課、長寿介護課と連携し、検討を行っている。

指定ごみ袋について

問 店舗で指定ごみ袋が品薄となった状況に対して、市としてどのような対応を行ったのか。また、販売店への供給状況の把握や在庫確保に向けて、どのように取組を実施したのか。

答 ごみ袋不足への対応については、ナフサ不足等の報道により一部店舗で品薄となったが、前年実績ベースでの確保は可能であることを確認し、大型小売店へは前年実績ベースでの発注を依頼した。

市民生活課環境整備係では5月18日から、ご家庭で手持ちのごみ袋(大)の在庫の少ない方を対象に5枚100円で、28日からは3枚60円でお譲りした。これは6月1日に店頭へごみ袋が並ぶことが分かっていたため、枚数を変更したものである。5月31日までに5枚を228組、3枚を32組の合計260組をお譲りし、6月15日からは5枚130円で販売している。

問 市民への周知はホームページや自治会を通じて行ったが、「ホームページはあまり見ない」との声もある。近隣市ではSNSも活用しており、防災行政無線や公民館放送など従来の手段も重要である。市民生活に大きな影響を及ぼす事案が発生した際の情報発信や対応方針の決定について。

答 市民生活に大きな影響を及ぼす案件では担当課と関係各課等で協議し、市長へ最終的な判断を仰ぐ。各種広報媒体のそれぞれの特性を踏まえた効果的な情報発信に努め、市民に必要な情報をより確実に届けられるよう今後とも取り組んでいく。

市議会トピックス

所管事務調査

それぞれの委員会が所管する事務について以下の項目を設定し、実態を把握するための調査を行いました。

総務文教委員会 調査日：7月31日(金)

- ・ 公立学校情報機器整備・クラウド校務支援システムについて
- ・ 空き家バンク登録物件について
- ・ 高機能指令システム更新事業について
- ・ 枕崎空港跡地におけるメガソーラー事業に係る土地貸付状況について



産業厚生委員会 調査日：8月10日(月)

- ・ 鹿児島県漁業協同組合枕崎市支所独自の取組と燃油高騰・物価高等への対応について
- ・ お魚センター横緑地の駐車場やトイレの整備状況について
- ・ 終末処理場の改修工事の進捗状況について
- ・ 下水道区域内の未接続箇所の河川の汚濁状況と事業者への指導・助言の状況について
- ・ 馬追川の状況について



タブレット使用状況視察

6月11日(木)、令和8年度ペーパーレス化に向けた取組の一環として他市議会のタブレットの使用状況を参考にするため、ペーパーレス会議システムを導入している南九州市議会の初日本会議の視察を議会運営委員会で行いました。

タブレットの活用状況や、導入経緯、現在の運用方法、導入後の課題などについて確認することができました。



伊佐市議会 調査研修受入

7月21日(火)、伊佐市議員定数・報酬調査特別委員会委員14名、事務局職員3名が、本市議会の「議員定数適正化及び議員報酬等調査特別委員会」の取組について調査するため視察に訪れました。

本市の議員報酬改定に至るまでの経緯や、改定の根拠について説明を行い、定数削減による議会運営への影響など活発な意見交換が行われました。



「きばらん海」踊り連

8月1日(土)、2日(日)、さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつりが開催され、会場は延べ6万人の人出で賑わいました。

1日の総踊りでは、議会も踊り連に参加し、皆さんと一緒に港まつりを盛り上げました。



南薩地区市議会議長会議員研修会

8月6日(木)、指宿市のふれあいプラザなのはな館で行われた研修会に参加し、岩手県陸前高田市防災局長の中村吉雄氏を講師に招き、『東日本大震災から学んだ教訓～平時からの備えについて～』をテーマに学びました。



全国市議会議長会表彰



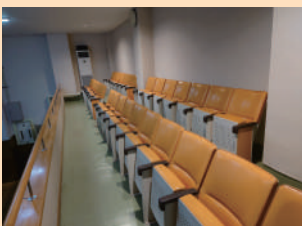
去る5月27日に開催された全国市議会議長会第102回定期総会において、市政の振興に努めた功績を表彰されました。

議員15年以上表彰

- 禰占 通男 議員
- 吉嶺 周作 議員

議会をのぞいてみませんか？

● 傍聴



本会議及び委員会は原則として一般に公開されており、どなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、3階傍聴席入口に置いてある傍聴券に氏名等を記入し、箱に投函してから入場してください。

● 議会インターネット中継



定例会・臨時会の本会議の様子は、インターネット動画配信サイト(YouTube)で生配信・録画配信を行っています。詳しくは枕崎市議会ホームページを御覧ください。

詳しくは枕崎市議会ホームページを御覧ください。

市民と市議会との 意見交換会

議員が子育てサロン・子育て支援センター(キッズ)に訪問します！



子育てしやすい まちづくりについて

お気軽に
ご参加ください

子育て世代の方々が日頃感じていることや、困りごとなど、
みなさんの声を聞かせてください。



子育てサロンでの 意見交換会

開催日 **10月15日 木**

時間 **11時～11時30分**

場所 **健康センター**

子育てサロンにお越しの方が対象です



子育て支援センター(キッズ)での 意見交換会

開催日 **10月20日 火**

時間 **10時30分～11時10分**

場所 **立神海の風保育園**

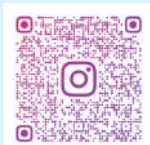
キッズにお越しの方が対象です

枕崎市議会公式SNS

本市議会活動及び枕崎の魅力と情報等を発信
しています。フォローや「いいね!」をお願いします。



Facebook



Instagram

議会だより表紙写真募集(6月・9月・12月・3月発行)

応募方法 住所・氏名・電話番号・撮影場所・撮影日時・写真のタイトル
を記入し、議会事務局へメール、またはデータを直接持参してください。

応募条件 ・被写体が人物または個人の所有物である場合は、必ず被写
体ご本人(未成年者の場合は保護者)または所有者の承諾を得てください。
・採用作品の著作権は、本市議会に帰属するものとします。
・応募いただいた写真等は原則返却いたしませんので、ご了承ください。

問合せ 議会報調査特別委員会(枕崎市議会事務局内)

住所:〒898-8501 枕崎市千代田町27

電話:0993-76-1046 メール:giji3@city.makurazaki.lg.jp

編集後記

残暑が続いておりますが、季節は少しずつ秋へと向かっています。皆様には健康に十分ご留意いただき
たいと思います。人口減少や少子高齢化が進む中、地域の課題は複雑になり、一つの自治体だけでは解決が
難しい時代になっています。

これからの議員活動には、地域の枠を超え、近隣自治体や県、国、さらには民間との連携を深めながら、よ
り良い仕組みを築いていく視点が求められます。

これからも市民の皆様の声を大切に、広い視野を持って、未来につながるまちづくりに取り組んでまいります。
(平田 るり子)

編集/議会報調査特別委員会

委員長: 橋口 洋一

副委員長: 辻本 貴志

委員: 上迫 正幸

味園 美和子

水野 正子

平田 るり子

枕崎市議会の詳しい情報は、「枕崎市議会ホームページ」をご覧ください。

<https://www.city.makurazaki.lg.jp/site/gikai/>

枕崎市議会

